

## ゼミ紹介

# 「つくる」、「演じる」、「つながる」

～どうすれば子どもの心に届くかな？～

## 「つくる」 繰り返すほど、「アイデアが武器」になる！

初めは、みんなで「壁面制作」、制作に慣れてきたら現場ですぐに活用できる「パネルシアター」「手袋シアター」に挑戦。最初から完璧を目指さなくて大丈夫。手を動かすうちに、驚くほど「要領」がよくなり、自然とコツを掴めます。「こうすればもっといいかも！」という工夫のアイデアが次々と湧いてくる自分にぎっと驚くはずです。



## 「演じる」 子どもの目を釘付けにする、「言葉の魔法！」

「何を観せてくれるの!？」と身を乗り出す子どもたちの笑顔を引き出す力を磨きます。ただ演じるだけでなく、みんなで作った保育教材に「創意工夫」というスパイスを加えることで、表現力はぐっと深まります。制作と演じることの相乗効果で、現場で本当に役立つ「実践力」を体感しましょう。

## 「つながる」 ひとりの工夫を、みんなの力に！

保育は最高のチームプレイ。自分ひとりではアイデアに行き詰まったとき、「こういうのもいいんじゃない？」という仲間の一言が、活動を動かす大きなヒントになります。「一人で抱え込まない」安心感は、何よりの支え。お互いの苦手を補い合い、得意を活かして協働することで、想像もなかった驚くような作品が動き出します。仲間と共に試行錯誤し、心をひとつに創り上げる感動。その経験は、現場に出てからもあなたを支え続ける「保育者としての宝物」になります。



## これらすべてが、保育現場で輝く「一生モノの実践力」になる！

「自分にできるかな？」という不安を仲間と創る「喜び」へ。ココで培うすべての経験が、保育現場で輝くあなたの「自信」になります。